

2年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

◎東地中海世界の諸民族

① シリア・パレスチナ地方

地中海東岸…エジプトと(1) を結ぶ通路：古くから交易で繁栄

→前12世紀ころより特色あるセム語系の人々の活動がさかんになる

② アラム人とフェニキア人

アラム人…シリアに都市国家建設→(2) ) 中心：内陸中継貿易に活躍

→アラム語：オリエントの(3) ) として普及

アラム文字：(4) ) 文字など多くの文字の源流

フェニキア人…シドン・ティルスなどの都市国家を建設

→(5) ) 貿易を独占, (6) ) など多くの植民市を建設

(7) ) :ギリシアからヨーロッパ諸言語の文字の源流

③ ヘブライ人(ユダヤ人)

遊牧民…パレスチナ定住→一部はエジプトに移住：新王国の専政に苦しむ

→前13世紀, 指導者(8) ) にひきいられパレスチナに脱出：「出エジプト」

前1000年ころ, 王国建国…(9) ) 王・ソロモン王の全盛期をむかえる

→南北分裂 北：イスラエル王国→(10) ) にほろぼされる

南：(11) ) 王国→新バビロニアによる征服、住民の多くが新バビロ

ニアの首都に連れ去られる。これを(12) ) という(前586~前538)

ユダヤ教の特色

唯一神(13) ) への信仰と神により選ばれた民族としての自覚

(14) ) (メシア) を待ちのぞむ信仰

(15) ) …新約聖書とともにキリスト教の教典にもなる→ヨーロッパ

の思想・芸術活動の源泉

◎古代オリエントの統一

① アッシリアと4王国分立

アッシリア…北メソポタミアからオリエント世界を最初に統一

→前7世紀前半, (16) ) の武器・騎馬戦術・強力な軍事力で全オリエントを征服

→(17) ) ・重税などの専政→服属民の反抗をまねき崩壊

4王国の分立…エジプト・リディア・新バビロニア(カルデア)・メディア

② アケメネス朝

アケメネス朝…前6世紀なかごろ, メディアから(18) ) 人(ペルシア人)が自立

→オリエント世界を再統一

第3代(19) ) …西：エーゲ海北岸~東：インダス川の大帝国建設

- 各州に知事（20）をおいて全国を統治
- 「王の目」「王の耳」とよばれる（21）が巡回：中央集権をはかる
- （22）人の海上交易を保護
- 国道建設→（23）とよばれる伝達・交通システムを整備

アケメネス朝の統治…服属した異民族に寛容な政策

（ユダヤ人をバビロンから解放など）

→前5世

紀前半、ギリシア遠征（24）戦争失敗

→前330年、（25）によって征服される

### ③ イラン人の文化と宗教

イラン人…領土としたオリエントの諸文化を統合

（26）…世界は善（光明）の神と悪（暗黒）の神の闘争→最後の審判

### ◎パルティアとササン朝の興亡

#### ① ヘレニズム期の西アジア世界

前4世紀…マケドニアがギリシア世界統一

→（25）の東方遠征：アケメネス朝をほろぼして大帝国建設

→（25）の死後、征服したアジアの領土：ギリシア系の（27）が継承

前3世紀なかば…中央アジアのギリシア人→（28）を建国

#### ② パルティア

前3世紀なかば…遊牧イラン人が（29）東南部に建国→（27）から独立

前2世紀なかば…メソポタミアをうばう→東西交易の利益を独占して繁栄

#### ③ ササン朝の盛衰

ササン朝…農耕を営むイラン人→パルティアを倒して建国

（26）国教化、ペルシア語使用（パルティア：ヘレニズムの強い影響）

第2代（30）

- 西方…シリアに進出 → ローマを破る
- 東方…インダス川西岸にいたる広大な地域を統合

5世紀後半…中央アジアの遊牧民（31）の侵入に苦しむ

（32）…（31）ほろぼす

（33）との戦いも優勢に進める

滅亡…7世紀なかば、アラブ人により征服される→イラン人；イスラーム文化圏で大きな役割

### ◎イラン文明の特徴

#### ① 宗教 ササン朝時代…ゾロアスター教の教典『アヴェスター』を編集

3世紀、マニ教成立…ゾロアスター教・仏教・キリスト教を融合 → 唐代の中国に伝播